

2020年9月28日

DIC株式会社

〒103-8233 東京都中央区日本橋 3-7-20
ディーアイシービル

ポジティブ・インパクト・ファイナンスの契約締結について

-当社のSDGs 目標達成への取り組みを金融機関が評価-

D I C株式会社（本社：東京都中央区、社長執行役員：猪野薫）は、三井住友信託銀行株式会社（取締役社長：橋本勝、以下「三井住友信託銀行」）との間で、国連環境計画・金融イニシアティブ（以下「UNEP FI」）（※1）が提唱したポジティブ・インパクト金融原則（※2）に即した「ポジティブ・インパクト・ファイナンス（資金用途を特定しない事業会社向け融資タイプ）」の融資契約を締結しましたのでお知らせします。

ポジティブ・インパクト・ファイナンス（以下「PIF」）は、企業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響）を包括的に分析・評価し、当該活動の継続的な支援を目的とした融資です。企業の活動、製品、サービスによるSDGs 達成への貢献度合いを評価指標として活用し、情報開示することが最大の特徴です。

D I Cグループは、彩り豊かで、もっと心地よく暮らせる、そんな社会を築いていくColor & Comfortをブランドスローガンとして掲げています。また、持続可能な社会を見据えてマーケットとお客さまのニーズに対応した製品ソリューションを提供し、彩りある快適な社会づくりを目指してColor & Comfortを実現することで、事業活動を通じた社会活動の創造とSDGs 達成に貢献しています。

本件締結にあたり、特にSDGsの目標達成にインパクトを与える以下について、定性的、定量的に評価されています。これらの取り組みの進捗・成果は、当社が発行する統合報告書「DICレポート」にて開示します。

テーマ	内容	目標と指標（KPI）	SDGs
化学物質情報 管理体制整備	新グローバル化学物質情報管理システムと運用体制の構築	（目標） ・2021年新グローバル化学物質管理システムの日本国内グループ会社への運用を開始 ・2024年DICグループ（米国サンケミカル社を除く）へのシステム展開を完了 （指標（KPI）） ・新グローバル化学物質情報管理プロジェクトの進捗状況	 

<p>サステナビリティ指標（※3）の運用化</p>	<p>サステナビリティ指標を全ての事業を対象にした「環境負荷の低減」と「社会への貢献」を測るものさしとして活用</p>	<p>（目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020 年当社でのサステナビリティ指標の試験運用開始 ・2021 年 DIC グループでの本格運用開始 <p>（指標（KPI））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サステナビリティ指標の運用状況 	
<p>気候変動への対応</p>	<p>省エネルギーと低炭素化の推進</p>	<p>（目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2030 年に 2013 年度比で 30%の CO2 排出量削減 <p>（指標（KPI））</p> <p>CO2 排出削減量</p>	
<p>新製品開発強化・新事業創出</p>	<p>新たな社会価値の創出に貢献する新製品開発・新事業創出</p>	<p>（目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新製品開発力強化 <p>（指標（KPI））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新製品・新事業創出状況 	
<p>労働安全衛生と保安防災</p>	<p>無事故無災害の達成及び労働安全衛生水準の向上</p>	<p>（目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無事故無災害の達成 <p>（指標（KPI））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総労働災害発生率 	
<p>人材マネジメント</p>	<p>多様な個性を活かす働き方の実現</p>	<p>（目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性社員の活躍推進 <p>（指標（KPI））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性管理職比率 	

なお、本件の締結にあたり、株式会社日本格付研究所（代表取締役社長：高木 祥吉）より評価にかかる手続きのポジティブ・インパクト金融原則への準拠性、活用した評価指標の合理性について第三者意見（※4）を取得しています。

当社は、本件の契約締結後も、様々なテーマを通じて世界的な取り組みである SDGs 目標の達成に貢献し、「社会から愛され、尊敬される会社」を目指してまいります。

以上

（※1）国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）

国連環境計画（UNEP）は、1972年に「人間環境宣言」及び「環境国際行動計画」の実行機関として設立された国連の補助機関です。UNEP FIは、UNEPと200以上の世界の金融機関による広範で緊密なパートナーシップであり、1992年の設立以来、金融機関、政策・規制当局と協調し、経済的発展とESG（環境・社会・企業統治）への配慮を統合した金融システムへの転換を進めています。

（※2）ポジティブ・インパクト金融原則

UNEP FIが2017年1月に策定した、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた金融の枠組です。企業がSDGsの達成への貢献をKPIで開示し、銀行はそのプラスの影響を評価して資金提供を行うことにより、資金提供先企業によるプラスの影響の増大、マイナスの影響の低減の努力を導くものです。

融資を実行する銀行は、責任ある金融機関として、指標をモニタリングすることによって、インパクトが継続していることを確認します。

（※3）サステナビリティ指標

当社が、中期経営計画「DIC111」で掲げた「経済的価値」と「社会的価値」が両立する事業領域の確立を目指すために策定された指標であり、廃プラスチック問題などに代表される社会課題に対し、当社が為しうる「社会的価値」を客観的に示すものさしとして用いられるものです。詳細は以下のURLをご参照ください。

<https://www.dic-global.com/ja/news/2020/csr/20200706095959.html>

（※4）株式会社日本格付研究所による第三者意見

以下のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.jcr.co.jp/>